



大阪市立 東生野中学校

校長名 川田 浩二
 所在地 〒544-0001 大阪市生野区新今里7-9-25
 電話 06-6752-2885 FAX 06-6751-9590
 URL http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j672483



教育目標

○人間尊重の教育を基盤とし、確かな学力に基づいた、自ら考え行動できる生徒を育成する。
 ○違いを違いと認め合う個性尊重の集団を育てる。

令和3年度全国学力・学習状況調査

● 平均正答率 (%)	国語	数学
	55	42

結果概要

【成果と課題】
 令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要
 全国を100とした時の標準化得点について、国語95、数学96、であり、全てにおいて、全国平均を下回った。また、平均得点率については、全てにおいて、全国平均を上回り、悪い結果である。
 ※分析から見えてきた成果・課題
 教科に関する調査より
 【国語】「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」の全てにおいて課題がある。
 ◎正答率の分布について
 全14問の問題数がある中で、本校では9問～11問の正答者の割合が、全国・大阪府と比べて極端に低い。またその分、6問～8問の正答者数が高い傾向となっており、生徒の中間層の正答率が低いことがわかる。全体的には、一人当たり、プラス2問の正答数が増えたと正答率が平均化してきている状態となっている。
 ◎無回答率について
 本校の試験結果の中で、無回答率が他と比べて高い傾向にある問題がいくつかある。
 ・文章の構成について考える問題
 ・自分のものの見方や考え方を表現する問題
 ・伝える文章を考えて書く問題の3つについてである。また主に、自分の知識を元に答える問題での無回答率は低い傾向がうかがえる。
 【数学】「数と式」「関数」「図形」「資料の活用」の全てにおいて課題がある。
 「式と計算」の分野では、基礎的な計算能力の低さが目立つ。特に、分数の計算の再確認、正の数・負の数、数の意味を理解することが必要である。計算や数の持つ意味を理解するとともに、単純な計算であれば機械的に計算できる力を身に付けていくために、多くの問題に取り組むことが必要である。「図形の分野」では、図形の性質の理解が十分ではないため、性質を用いた問題には取り組むことができていない。それらに応用した問題にも取り組むことができるよう、図形の性質の学習を繰り返して行い、理解を深める

標準服

有



重点目標

○基礎的な知識・技能の定着をはかり、自ら学び、創意工夫に努める生徒を育てる。学力向上のため、授業の形態・内容を改善する取組みを進める。
 ○豊かな人権感覚を持った生徒を育成し、お互いを認め合う集団を育てるとともに、国際理解教育・外国人教育を推進する。
 ○生徒理解を一層深め、基本的な生活集団を身につけ、自主的に行動できる生徒を育成する。
 ○積極的な体験活動を通して、思いやりの心を育て、ともに支えあひあふれる集団を育成する。
 ことが必要である。
 「関数の分野」では、それぞれの関数をもつ特徴や値の変化の仕方を再確認させ、グラフの変化と関連付けて理解を深める必要がある。また、「関数」は他の3つの分野にも関係することの多い分野なので、他分野での学習時にも関連付けて学習することで、知識の定着を図る。
 「資料の活用」の分野では、資料から事象の傾向を読み取り、おこる結果を予想する、いろいろな場合に於いて資料を分析する、等の力が十分ではない。身近に起こる事象などを取り上げることで、その場面をイメージしやすくし、自分ならどうするかを考えさせることで、資料の見方や活用の仕方を身につけていくことが必要である。
 ※生徒質問紙調査より
 「家で、自分で計画を立てて勉強している(質問紙17)生徒の割合が全国と比べて低い。
 一方、「自分には、よいところがあります(質問紙6)」「将来の夢や目標を持っていますか(質問紙7)の割合は、全国と比べて高い。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

【今後に向けて】
 ・全校生徒を対象に英語検定試験を実施する。
 ・また、国語の基礎・基本の定着をより進めるため、希望者に漢字検定試験を実施する。
 ・年間を通して外部講師を招き、土曜講座を行っている。
 ・学校元気アップ地域本部事業・学力UPコーディネーターを活用し放課後学習・テスト前学習への参加数を増やす。
 ・学校図書と連携し、学校図書館の積極的な利用を図り、読書活動の充実に取り組む。
 ・生徒質問紙の結果をふまえ、家庭学習の充実を地域・保護者に呼びかけていく。

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

● 種目別平均値 ※持久走と20mシャトルランのうち、20mシャトルランを選択して実施した。

性別	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点
男子	30.1	29.23	45.13	53.98	-	81.22	7.67	196.96	23.0	44.67
女子	22.9	22.42	56.52	50.69	-	55.81	8.75	170.27	12.8	52.98

結果概要

【分析結果】【今後に向けて】
 男子体力合計点については、全種目において全国平均(+3.49)・大阪市平均(+3.96)を上回った。「運動やスポーツをすることは好きですか」について、肯定的回答は大阪市平均と比較して、やや上回っている。全国平均とは同じ割合である。①「あなたにとって運動やスポーツは大切ですか」については81.6%が「大切」と回答。②「体力テストの結果や体力の向上について、自分なりの目標を立てていますか」については81.6%が「目標を立てている」と回答し、③「共に全国平均を約15%と大幅に上回っている。この結果から生徒が自身の体力・運動への興味・関心が高いことがわかる。また、「保健体育の授業は楽しいですか」については98%が肯定的な回答をしており、日頃の授業から主体的に取り組んでいることもわかった。このように、本校生徒は体力・運動に対して意識の高い生徒が非常に多いことが、今回の調査結果につながっていると考えられる。1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合については、大阪市平均と比較的割合は少ないが、全国平均より割合は高い。今後は生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質や能力の育成に取り組み、課題の改善に努めていきたい。
 女子体力合計点については、全国平均を超えた。また、大阪市平均を上回ったのは、長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび・ハンドボール投げの6項目である。全国平均を上回ったのは、大阪市平均を上回った6項目と上体起こしである。握力のみが大阪市・全国平均を超えることが

できなかった。1年生のときに鉄棒運動を行ったが、懸垂や逆上がりができる生徒が例年より少なかった。2年生の2学期に鉄棒運動の授業を行った。昼休みや放課後に鉄棒をしている生徒が増えた。その結果、3学期に再度測定したときに記録が向上している生徒が大勢であった。長座体前屈は、毎学期授業のテストを行っているため記録が大幅に上回っている。20mシャトルランに関しては1年時に1000m走を10回行っており、応援される限界まで頑張る生徒が多くおり、記録者は実施者を大きな声で応援する。その結果、平均を上回ることができたと考えられる。例年、立ち幅とびが弱かったがトレーニングの際ポイントを描く伝えた結果、今年は上回ることができた。ハンドボール投げは、授業の最後10分ほどドッチボールを行うことが多かった。これにより、投げ方などの指導を例年より多かった結果だと思われる。今後ポイントを的確に伝え、理解させることができれば、記録は向上すると考えられる。そのため、タブレットをもっと活用していきたい。体育の時間にポイントを描く伝えたり、タブレットを使って自分の動きを確認した。見るポイントや伝え、よい見本をClass roomにアップした。その動画を見て分析を行なった。また、振り返りを行うことで、次の授業での取り組みに変化があった。アンケートでも、授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらったが63%、先生や友達にまねをしてみたが71%と高かった。「運動やスポーツをすることは好きですか」について、肯定的回答は全国・市と比べて低い。また、1週間の総運動量時間の0.59分の者が約20%にあたる。「あえて運動はしたくない」・「体育の時間だけで充分」と考えている生徒も多い。そのため、体育の時間は運動量を増やしてあげたい。

卒業後の進路

過去3年間で進学者数の多い学校を、国公立・私立別に五十音順に記載しています。学校の後ろに過去3年間の進学者数の累計を記載しています。

● 過去3年間の卒業生数	令和3年度	99	令和2年度	83	令和元年度	94
--------------	-------	----	-------	----	-------	----

【国公立】

旭 (2) 阿倍野 生野 (2) 市岡 (2) 開芸 扇町総合 桜和 大阪教育大付属天王寺校舎 大阪ビジネスフロンティア (10) 大阪わかば (勝山・桃谷) (4) 大手前 (3) 門真なみはや かわち野 (2) 北野 柴島 (2) 工芸 (3) 高津 港南造形 (2) 咲くやこの花 (2) 桜宮 (5) 島本 清水谷 (3) 住吉 成城 (6) 泉北第二工芸 鶴見商業 (3) 天王寺 長吉 南紀 (和歌山) 西日新 (東大阪) (2) 農芸 花園 (5) 汎愛 (3) 東 (2) 東住吉総合 (2) 布施 (6) 布施工科 (10) 松原 みどり清朋 港 (2) 南 都島工業 八尾 (3) 八尾北 (2) 八尾翠翔 山本 (4) 淀商業

【私立】

藍野 飛鳥未来 アナン学園 (5) 石見智翠館 (鳥取) (2) 上宮 (4) 大阪 大阪信愛学院 (2) 大阪学院大学 (3) 大阪学芸 (3) 大阪新光 大阪産業大学附属 (6) 大阪商業大学 (9) 大阪商業大学 大阪情報コンピュータ高等専修 (2) 大阪女学院 大阪信愛学院 大阪成徳女子 (2) 大阪南苑 (7) 大阪夕陽丘学園 (4) 関西調理師学校 関西福祉科学大学 (2) 近畿大学附属 (6) 金蘭会 クラーク記念国際 賢明学院 (2) 興隆 (10) 好文字女子 全光大阪 全光藤原 (11) 金光八尾 札幌山の手 (北海道) (2) 四條学園 西天王寺 櫻塚 (3) 南学園 (5) 城南学園 昇陽 清風 (3) 清明学院 (4) 創志学園 (岡山) 第一学院 帝京長岡 (新潟) 天王寺学園 天理 (奈良) (6) 天理教校 (奈良) 桐蔭学園 (神奈川県) 東海大学付属大阪仰光 同志社香里 (2) 浪速 (6) 八戸光聖学院 (青森) 初志立命館 (バント) 高等学院 阪南大学 (3) 東大阪大学柏原 東大阪大学敬愛 ヒューマンキャンパス 敬愛学園 (兵庫) 松山聖蹟 (愛媛) (2) 明成 (宮城) 明徳義塾 (高知) (2) 桃山学院 (3) 八洲学園 ルネサンス大阪 YMCA学院 和歌山南陵 (和歌山)

校長先生のメッセージ

伝統ある我が母校、東生野中学校長に校長として勤めて6年目になりました。私自身の持っている全ての力を出して、求められている子どもの学力の向上や心身の成長といった教育の過程を直視し、安心・安全で創意工夫された活気あふれた学校運営を私のリーダーシップの下、教職員一丸となって取り組んでいます。今後も、常に新たな気持ちを持ち、東生野中学校の発展に尽力を尽くします。いつも、生徒には「夢を持って」と言い続け、その「夢」が叶うように、生徒たちをサポートしてきました。「夢」を追い続けていけば、「夢は必ず叶う」と。「夢が持てる学校」「夢を育てる学校」「夢が叶う学校」をめざします。

運営に関する計画

● 計画のエッセンス

・現在の落ち着いた学校の状況を継続し、学習環境の充実、教員の授業力向上に努める。
 ・そして、主体的・協同的な深い学びの実践のため、校外の研修会に積極的に参加し、校内の授業研究に活かす。
 ・また、学校元気アップ地域本部事業を活用し学校図書館の積極的な活用を図り、読書活動の充実に取り組む。生徒質問紙の結果をふまえ、家庭学習の充実を保護者に呼びかけていく。
 ・今年もボランティアによる講師を招き、HSL(東生野土曜塾)を開催し、学力の底上げを図っていく。
 ・さらに元気アップの協力のもと毎日図書館を開館し、自学自習の勉強の場を提供する。

● 中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】
 ○令和7年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を93%以上にする。R3 89%
 ○令和7年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。R3 4.8%
 ○令和7年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。R3 1.2%増
 ○令和7年度末の学校教育アンケート「学校のきまり・規則を守っていますか」の肯定的な回答する生徒の割合を98%にする。R3 96.0%

○令和7年度末の学校教育アンケート「将来の夢や目標を持っていますか」の肯定的な回答する生徒の割合を85%にする。R3 77.0%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を50%以上にする。R3 37%
 ○令和7年度末の中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。R3 1年国0.91数0.88 2年国0.89数0.90 3年国0.92数0.79%
 ○令和7年度末の大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を55%以上にする。R3 43.8%
 ○令和7年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を58%以上にする。R3 54% (2年生)
 ○令和7年度末の学校教育アンケート「朝食を毎日食べていますか」の肯定的な回答をする生徒の割合を95%にする。R3 95.0%

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度末の学校教育アンケート「先生は、ICTの活用をしている。」の肯定的な回答をする生徒の割合を100%にする。R2 91.6% R3 94.5%
 ○令和7年度末の年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を70%以上にする。(10日以下 15人/32人 2/21現在)

【特色ある学習活動】および「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

● 夜間学級との交流

大阪市立中学校には4校の夜間学級が設置されており、本校はその1校です。夜間学級とは、戦争や貧困・病気・家庭の事情などにより、やむを得ず義務教育を修了することのできなかった人たちがや不登校等で当時中学校に行けなかった人たちのための公立中学校であり、本校では平均年齢70歳の中学生が昼間の中学生と同じ学校内の敷地で勉強しています。

夜間学級ですでの勉強する時間は夜と昼とで違いますが、同じ、東生野中学の生徒として交流を持つことは、昼の生徒にとって勉強に対する思い・姿勢、これからの人間として生きていく上での情操感情の醸成に大変効果のあるものと思います。本校では、まず、1年生を中心に交流を持ち、最後には夜間学級を訪問し、夜間学級の生徒さんと授業を共に受けることで、交流を図っています。



特色ある学習活動

● 部活動の充実

部活動が盛んな学校は、規律の中にも活気のある学校となります。これは、生活指導にも活かされ、校内はもとより校外でも近年大きな問題行動はありません。50年以上活動歴史のある伝統あるラグビー部、毎回大阪市大会において上位に名を連ねる男子バスケットボール部、ソフトテニス部、体操競技部、そして卓球部、女子バスケットボール部。また、文化部においてはコーラス部、イラスト・文芸部が活躍しています。



家庭・地域等との連携

● 学校支援ボランティアの導入状況

学校元気アップ地域本部事業の一環としてコーディネーターを中心として生徒の学力アップ等に貢献してもらっています。毎日図書館を開館し、自学自習の勉強の場を提供するとともに、漢字検定対策学習会を学校あげて取り組んでいます。また、ボランティアによる外部講師を招き、HSL(東生野土曜塾)を開催し英語と数学の授業を行い、塾形式の学習の場を確保して学力の底上げを図っています。